

# 令和6年度 第3回会議で出された意見に対する対応

資料 1

第3回会議での意見	第4回会議資料	資料番号
<p>都市と交通の議論をするためには、バス路線のサービスレベル、例えば1日2本とか、運行本数が著しく少ない路線などについても明確にしておくべき。</p>	<p>延伸想定地域の現状（沿線地域の250mメッシュ人口、バス路線、交通空白地域、観光施設）</p>	<p>1.5</p>
<p>鉄道空白地域は、実際は人口があまり張り付いていないところも多いので、市街化していないところは、人口密度も確認したほうがよい</p>		
<p>鉄道空白地域やバス路線の整備状況、人口密度、ハザードなど、まちづくりの検討に当たっての様々な要素があるので、その要素を総合的に考えることが求められる。</p>		
<p>ポテンシャルの視点で、観光も含め、この図面にプロットして、街の持続可能化や発展を図るのがよい。</p>		
<p>現状のまちづくりの資料について、議論をするときに、その周囲が見えない。ピンポイント的な絵になってしまっているので、もう少し広く俯瞰したらよい</p>	<p>都営大江戸線、日暮里・舎人ライナーの混雑度資料</p>	<p>1.7</p>
<p>混雑率を1時間あたりで整理しているが、ピーク時は細かな時間で変動が大きい。今後は詳細な検討も行っていくとよい</p>		
<p>移動需要を満たすだけでなく、車窓風景とか、乗ること自体が観光とか魅力になることも、評価要素として設定してもよいのではないか。</p>	<p>都市索道資料</p>	<p>2.1</p>